

防犯・交通安全、防災活動

※世帯数及び人口は令和4年4月1日現在

東区	小学校区・地区名	芥子山学区	世帯数	5,942世帯	人口	14,018人
----	----------	-------	-----	---------	----	---------

■組織の概要

芥子山学区は、西に百間川、東に洪水・浸水の危険の高い砂川に挟まれています。また、干拓地であるため地震による液状化も心配されます。

本組織は、地域の課題を解決するために学区内の各種団体が連携し、相互に情報を共有することで一体となり安全で安心して暮らすことのできる街づくりを目的として活動しています。

■活動の取組内容

(1) 防犯・交通安全部会の取組

①防犯・交通安全教室の開催

公民館の「夏休み子どもフリー塾」で、自転車のシュミレーター体験などを行っています。高齢者のサポカー体験も予定していましたが、コロナ感染予防のため中止となりました。

②街頭指導

秋の交通安全運動期間中に、一斉街頭広報活動を行い、交通安全の啓発をしています。



公民館での交通安全教室



街頭指導

(2) 防災部会

①防災視察研修

自主防災組織を各町内会で立ち上げる啓発を目的とし、令和元年には玉野市和田・御崎地区自主防災組織連合会設立の体験談を聞き、平成29年には徳島県立防災センター、平成30年には倉吉防災センターに行き研修をしました。

②芥子山学区防災訓練

平成26年～31年にかけて、テーマを決めて毎年3月に継続して行ってきました。毎年少しずつ内容が深まっており、地域住民の防災意識の向上につなげています。

◆平成30年3月11日(日)参加者89名

テーマ「避難所運営ゲームをしよう」



小グループでの話し合い

小グループに分かれて、体育館に避難をしてきた様々な人の受け入れ方について、あれこれ知恵を出し合いました。(避難所運営ゲーム)

◆平成31年3月10日(日)参加者116名

テーマ「芥子山ふるさと防災懇話会を開こう」



講話視聴



簡易トイレ作製

講話を視聴し、行政と住民の対応をみんなで話し合いました。その後、簡易トイレや段ボールベッドなどを実際に組み立てることを行いました。

■活動の成果と課題

地域防災に力を入れることにより、自主防災組織の充実や住民の自主避難に向けての意識を高めることができてきました。課題としては、災害が起こってからでは遅いので、地域が「ひとつにまとまる」ことができるように、幅広い年代層の住民参加を対象とした活動が望まれます。

【協働する団体等】

連合町内会、交通安全母の会、交通安全対策協議会、愛育委員協議会、民生委員・児童委員協議会、栄養改善協議会、体育協会、老人クラブ連合会、岡山市消防団芳野分団・可知分団、その他全27団体